



東久留米市立久留米中学校

久留米中だより

教育目標 「知性を高める 心を豊かにする 体を鍛える」

令和6年 2月 29日
〒203 - 0052
東久留米市幸町 5-9-11
TEL 042-471-0030
FAX 042-472-7994

次のステージへ向けて

校長 花房 康之

1月の学校だよりに掲載しました学校関係者評価アンケート結果のうち、設問「12 私は1年生60分以上、2年生90分以上、3年生120分以上の家庭学習努力目標時間の設定により、家庭学習の重要性が指導され、家庭学習の習慣がついてきた。」の生徒の肯定的回答は64.9%（保護者42.9%）と残念ながら他の設問結果と比べ低い値でした。合わせてタブレットを用いて「チームズ」ツールを利用し、7月と12月と今月の3回、生徒へ家庭学習時間のアンケートを実施してきました。各学年の家庭学習努力目標時間の達成割合の推移をお知らせいたします。

3年生の家庭学習時間120分以上実施している割合の推移は、14%（7月）→38%（12月）→40%（今月）、
2年生の家庭学習時間90分以上実施している割合の推移は、16%（7月）→28%（12月）→31%（今月）、
1年生の家庭学習時間60分以上実施している割合の推移は、49%（7月）→43%（12月）→50%（今月）という結果となりました。

間もなく3年生は上級学校への進学、1・2年生は進級を迎えます。毎日の家庭学習の習慣を定着させることは、次のステージで力を発揮させるための重要な土台となります。最後の定期考査である学年末考査が終わった後でも、これまで学んできた内容の復習や弱点の克服を意識して、毎日の家庭学習で地道に継続して取り組むことが重要です。そのための時間を確保し、苦痛に感じることをないように習慣化することを強く願っています。

勉強はただただ時間を多くかければよいというものではありませんが、学習する場所に座る、集中する、活字を見る、読む、考える、書く、など学習体力も必要となります。そのためには適する取組時間も身に付ける必要がありますので、家庭学習努力目標時間を設定しました。筋力同様、日々の積み重ねが大事です。

精神科医の樺沢 紫苑（かばさわ しおん）著「アウトプット大全」には、『成長曲線は、アウトプット（知識を使うこと）の量で決まる。月3冊読書をする人と月10冊読書をする人では、どちらが成長すると思いますか？ほとんどの人は、本をたくさん読むと、いろいろな知識を身につけることができるので自己成長できているでしょう。しかし、それは間違いです。インプット（知識を得ること）の量と自己成長の量は、全く比例しません。重要なのは、インプット（知識を得ること）の量ではなくアウトプット（知識を使うこと）の量なのです。たとえば、月3冊読んで3冊アウトプットする人と月10冊読んで1冊もアウトプットしない人とは、どちらが成長するでしょうか？間違いなく「3冊読んで3冊アウトプットする人、つまりアウトプット量が多い人です。なぜなら、いくらインプットしてもアウトプットしない限り記憶として定着しないからです。』と書かれていました。確かに、数学の問題の解き方を授業で学習し、「ああ、こうすればできるのか」と納得（インプット）しても、次の日に解こうとして忘れてしまった経験を思い出します。また納得（インプット）できた解き方を問題集で何度となく繰り返し解いたり、友達に説明や教える機会（アウトプット）があった内容は、忘れることなく身につけることができた経験を思い出します。言語活動を充実させることは知識を定着させるうえで重要な活動であることが分かります。自分の考えを整理して他者に分かりやすく伝えることや物事の説明をすることは知識の定着とともに自己の成長にもつながる行為なのだ改めて考えさせられます。家庭学習では復習、すなわち学校で教わった事柄を反復するのはもちろんですが、他者に内容や手順を口に出して説明することが必要と考えられます。自分一人でも口に出して内容や手順を説明することは可能です。実行する価値はあります。自分なりのやり方を見つけてください。

がっこうヨガ

1月31日(水)3年生、2月9日(金)2年生がPTA主催のヨガ教室を行いました。講師にはがっこうヨガ代表理事の先生をはじめアシスタントの先生に来ていただきました。

3年生は4月からの新しい生活への不安、目前の入試への不安など、それぞれの不安がとても大きくなるこの時期、更に体をあまり動かすことがないこの時期にヨガ教室を行うことで心も体もリフレッシュできました。卒業に向けて全員がそれぞれの壁を乗り越えてくれると思います。

2年生はヨガ教室を行い、楽しく心を落ち着かせる方法を学び「これからの生活に活かしていきたい」という感想が多く見受けられました。それぞれ日常生活で役立てて欲しいです。1年生は3月1日(金)6校時に行う予定です。

「色々な事情があり、多様な環境の中で、苦しい思いをしている子どもたちがいます。ヨガを伝えていくと『先生、生きててよかった』と言ってくれた。そんなことが起こるヨガをひろげたい。」と講師の先生はおっしゃっています。私自身、とても感銘をうけました。今の時代この先、何が起こるのか誰にも分かりません。そんな将来を強く生きていくためにも心身共に鍛えること。時にはリフレッシュさせることはとても重要です。ヨガ教室を通して生徒が心身共に成長するきっかけが出来たと思います。



副校長

ハンセン病講座



2月16日(金)国立ハンセン病資料館から学芸員さんが来られて「出張講座」が行われました。2年生はこの日に向けて、ハンセン病に関する資料を読んだり、ハンセン病について特集された番組「探検 バクモン」を視聴したりしてきました。今回、実際に患者さんとも関わる機会が多い学芸員さんが患者さん自身の証言などもまじえて、後遺症だけではなく重労働や差別による苦しみがあったこと、現在患者さんたちが全生園でどのような生活を送っているかなど、丁寧に説明して下さったおかげで、知識だけではなく感覚としても伝わってくるものがありました。

た。

「他人事ではなく、私たち自身も考えなければならない問題だと改めて思った」「全生園の資料館に行ってみたいと思った」「私達若者が未来の子どもたちにも伝えていきたい」などの感想も聞かれました。

ハンセン病問題をきっかけに、これからも人間らしく生きるためにどうすれば良いか、考え続け、行動して行ってほしいと思います。

2年生担当